

議会だより

105号
2014.2



中体連男子団体初優勝し全道大会ベスト8の剣中卓球部

第5回臨時会	初議会開催 — 議会構成決まる	2P
一般質問	5人が登壇（第4回定例会）	3~7P
第4回定例会	東中央団地公営住宅建設6,706万円補正	8P
親しまれる広報をめざして・・・町民インタビュー		9~10P
要望意見書4件提出		11P
シリーズ「活躍するけんぶちっこ」・編集後記		12P

決意も新たに



町議会議長

大河 邦 晃

昨年12月の初議会におきまして、不肖私が議員全員のご支援と、ご推挙を戴き、二度議長の要職に就かせて戴いたところです。もとよりその器でなく、さらに定数に1名欠員の状況のなか、厳しい議会運営が予想されますが、町政の健全な推進と議会の円滑な運営のため一致団結し懸命の努力を傾注する覚悟でございます。

国政も第2次安倍内閣が発足して1年が経過しました。アベノミクス効果により輸出関連産業など一部の大企業では業績も上向いてきていますが、地方にまで波及していないのが現状です。加えてTPP問題、水田転作の補助金の削減等大変な課題も多く抱えており先行きは全く不透明であり、町行政にも影響を及ぼすものと思われます。地方自治体の仕事も益々多様化しており、議会として常に研鑽を積み、結束して対応をしていかなければならぬと思います。町政のさらなる発展のため、町民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年 第5回臨時会 12月16日

議会改選後の初議会で議長、副議長、各常任委員会、議会運営委員会などの議会構成を決めました。

新しい議会の構成



生出孝男 副議長



大河邦晃 議長

総務厚生常任委員会



高橋(毅)委員



畠山副委員長



古山委員長

議会運営委員会



卯城 副委員長



武山 委員長

委員
委員
委員
久一孝
雄博男



生出委員



卯城委員

議会広報委員会

委員長
副委員長
委員
委員
伊美雄明
規弘久秀孝
伊美雄明
規弘久秀孝



大河委員

産建文教常任委員会



武山委員



大澤副委員長



高橋(一)委員長

士別地方消防事務組合議員

大河邦晃・生出孝男・古山久雄

議会選出監査委員

高橋毅

問 新町長の政治信条と政策展開は

答 思いやりと感謝を第一に知恵と工夫で力強いまちづくりをしたい



早坂町長



高橋毅 議員

新町長は選挙広報で思いやりと感謝を第一に掲げ政治信条として対話と信頼・公平公正・安全安心・英断と実践・豊かな日常生活が享受でき安心して住み続けられる絵本の里けんぶらちを創りますとしている。最初に思いやりと感謝をあげた理由と、絵本の里26年の活動で重要な役割を果たしてきたおり、町内外のネットワークの豊富さを活かして活力ある農業と商業の振興及び起業支援と誘致・安全安心して暮らせる福祉サービスの構築という2点をどのように実現していくのか具体策を伺いたい。

早坂町長

思いやりと感謝は絵本の里づくりのなかで来町者に、心のふるさと絵本の里けんぶらちを感じ取つてもらうフレーズで、小さな町が永久に残つていくことを考えた場合、現代社会の中で忘れた価値観をいま一度町民のみなさんに心ができるのであれば理想のまちづくりができるのではないかということを感謝の気持ちで受け止めるこ

町職員にも意識して持つてもいいたいと思う。

活力ある農業と商工業の振興については、TPP問題をはじめ、米政策の改革、見直しや減反政策の廃止など、減反が70%を超える我が町には大きな衝撃だが、これらを克服して地場産品や加工品の販売、若者の支援を進めていきたいと思う。商工業の振興は町内の雇用創出のために新規の起業者に、ハード事業を含めて支援する制度を創設したいと考えている。

安全安心で暮らせる福祉サービスの構築は、65歳以上の高齢化率



元町ふれあいサロンの様子（上・下）



が35.3%で3人に1人が高齢者となっている。住みなれた地域にできるだけ長く健康で安心して生活できるように、特養のデイサービスやホームヘルプサービスなどの基础设施は勿論のこと、要介護にならないで元気な生活が続けられるよう健康寿命を大切にし、地域包摠支援センターを中心に介護予防の取組みを強化していきたい。また、近年地域における支えあいとしてふれあいサロンは現在4カ所で開設されているが、自治会やボランティアの協力を得ながら他の地域にも広めていきたい。

**問 中学生まで医療費の無料化を拡大すること
住宅新築・改修促進助成事業を継続し見直しをすべき**

**答 中学生の医療費の無料化は取り組みたい
住宅新築・改修促進助成事業は継続し、
一部は商品券で対応したい**



高橋一博 議員

平成25年9月の一般質問で前佐々木町長に中学生まで医療費無料化の拡大と、平成26年3月までの时限で実施している住宅新築・改修促進助成事業の継続と見直しについて質問をした。前町長の答弁はいずれも検討したいとのことであり、新町長に就任した早坂町長には確認の意味もあり再度質問するがどう考えているのか。

早坂町長

上川管内の状況や本町における近年の中学生の受診状況等、また本町の少子化対策や子育て支援の充実の視点に立ち財源確保を含め検討したい。

高橋議員

前町長同様に検討したいではなくはつきりと取り組みたいと言えないか。

早坂町長

まだ一週間の在任であり、このような表現になつたことを理解してほしい。

高橋議員

結果的に取り組むと理解している。

早坂町長
結構です。

高橋議員

住宅新築・改修促進助成事業の継続と見直しについてはどうか。

早坂町長

この事業は建設業関係と打ち合わせて地域経済への多くの波及効果があり単なる個人への助成とは考えていない。現在予算編成中であり継続と捉えてよい。また、見直しについては、全額現金給付を改めて一定額を商品券との併用に

高橋議員

福島第一原発事故以来、自然エネルギーへの関心が高まってきて

いる。道内179市町村のうち71市町村で設置に対応して補助支援策に取り組んでいる。本町も検討すべきと思うが町長の考えは。

早坂町長

住宅太陽光発電システムは、電力会社へ売電や既存設置者との公平性もあり補助には馴染まない。ただ、今後産業用の太陽光発電システムが開発され制度化されれば農業用施設利用に可能ならば前向きな方向で研究を進めたい。

高橋議員

助成額について平成26年4月より消費税問題もあり、再度検討すればならないので総合的に判断して現状が一応限度と考えている。

早坂町長

より町内商店の購買促進に寄与し建設業を含め商工業全体の相乗効果も見込む手法を検討したい。



町内の太陽光発電を設置した事業所

問 行政改革と各種事業の検証は

答 内部検討も踏まえ実施できるところからやつていく



行政改革推進本部会議



武山啓一 議員

新町長は選挙期間中行政の発展と継続を訴えていたが、そのためには行政改革と各種事業の検証は欠くことのできない事業である。最近では庁内のグループ制導入が大きな改革で、近年人口減も進み3,400人台となっているなか、職員の削減も含めた新たな改革が必要と考えるが伺いたい。

早坂町長

行政改革については第3次の改革として平成26年から30年までの実施に向けてスタートするところであり、事務改善検討委員会では職員からの提案を受付けている。また、職員の削減についてはいまのパソコンがなければ業務ができるないという事務状況では部署によつては人手不足で人件費を減らす努力をしているが現状況では厳しい。

武山議員

次に、各種団体の補助金削減と集約についてだが、数年前に一律削減した経緯がある。団体によつては構成員の減少が大きい団体もあり一律削減ではなく活動に応じた補助金の支出であるべきと思うが町長の考えは。また、特に近年目ざましい活躍をしている若者の団体などは、固定した補助金はなく必要に応じて町に要請をして頑張っているところがある。「このことも十分に考える必要があると思うがどうか。

早坂町長

補助金の性格や交付金要件が異なるために難しいところがあるのが、なる。

内容を精査して効率的な交付方法を研究したい。

武山議員

事業の評価について第3者を入れた検証も必要と思うがその考えは。

早坂町長

必要なものとそうでない事業があるので、まずは課、担当者による内部評価を行つてきており、評価方法を十分研究すべきと考えている。

武山議員

最近職員が出向いて書類を処理する形態がなくなり町民がそのままに役場へ行くスタイルは決して望ましい姿ではない。そうすることで職員も町の中がどういう状態なのかということを理解し得ないと思うがこの点についての町長の考えは。

早坂町長

町民のみなさんには不便をかけられる状態はあるとは思うが出向くのが困難である場合についてはそのことを伝えていただければ対応していきたい。

**問 町職員の採用と配置は十分か
特に館の館長は正職員を配置すべきでは**

**答 館の業務全体を統括的にマネジメント
できる人の配置を考えていきたい**



生出孝男 議員

町の事務事業の量は増大し、煩雑さを増すばかりだが、町職員の採用と配置は十分か。

早坂町長

人口が2万人の市と基本的な事務事業の差はほとんどなく煩雑さは増している。平成26年度に一般職で2名、専門職で1名の採用を内定し、1月に農場技術員1名の募集を予定している。

生出議員

恒常的な職員採用計画を立てていかないと中堅職員の不足が課題になる。職員には見えない労働強化、サービス超勤や休暇も取りにくいといった状況にあるがどうする。

早坂町長

基本原則は欠員補充の考え方だが、長期的な展望に立ち採用する年度によっては増員し、切れ目ない採用で仕事の歪みを解消していく考えている。中堅職員の育成は通常の一般研修と別に研修を増やし、中堅職員として成り立つよう人材育成を考えている。

生出議員

絵本の館の町職員は司書だけで館長は嘱託のままである。絵本に

よみまちづくりをすすめる町として正職員を配置すべき要の施設だと思つがどうか。

早坂町長

以前は中堅の正職員を配置していたが、現在はその業務を司書と嘱託の館長が分担して行っている。館長の役割を担う職員の配置は正職員、あるいはそつでなくとも町民との協働による絵本のまちづくり活動を理解し、企画力と調整力があり絵本の館業務全体を統括的にマネジメントできる適材な人の配置を考えていきたい。

福寿寮の増床で介護支援
をすべきでは

生出議員

国の社会保障制度見直しで要支援1、2を介護予防サービスの制度から離して町が直接責任を負うようになる。特養への入所は介護度3より重い人に限定しようとしているが、これらへの対応として福寿寮の増床で、単身者だけではなく老夫婦を入れるようにする必要があるのではないか。

早坂町長

いま策定中の地域福祉計画で、高齢者福祉寮を増築して夫婦の入居も可能にし、一定程度の生活支援が必要な方の入居もできる施設にあることや、認知症対応型のグループホームを1ユニット増床し認知症対応型デイサービスを実施すること、ひらなみ荘のショートステイを増床することで、入所待ちに対応する、といつたいたずらかの手法を検討している。

*1ユニットは9人



福寿寮の内部廊下

問 剣淵町観光協会の組織のあり方と今後の支援策は

答 「イベント」型から「おもてなし」型 となれば道は開ける



**卯城規伊
議員**

剣淵町観光協会の現在の組織構成は体制として硬直化を招いていいか。また協会の事務局の体制についてはどうするつもりかそれについて伺いたい。また、最近は近隣市町村において、観光に係わる事業をふる里活性化策の柱として定住並びに交流人口の増加につながるとし、観光協会の独立性と支援強化に努めている。助成の増額も含めどう考えているのか。

早坂町長
協会の役員人事については、形式的に問題はないと考えている。ただ従来から協会業務は「イベント消滅」型であつたがこれからは体験観光などの可能性も含め、法人格化なども考えて「おもてなし」型となれば道は開けるものと考えている。事務局体制については意欲ある人材が安定した生活を送れるよう待遇改善に努めたい。

卯城議員

剣淵は農業が基幹産業なので、農産物を中心に「食」を売り込むことだと思う。レークサイド桜岡を中心として「当地グルメを提案してもらい、地元農産物を率先して利用していく。ケーキなども作って期間限定などで試験的に道の駅やレークサイド桜岡で販売することがよいと思う。そこで、協会事務局にはイベントをこなすだけでなく、農産物のパッケージデザイン、パンフレットなども「絵本の館」のつながりで絵本作家の協力を得て作成するなど観光協会が総合的な役割を担つていくべきと考えるがどうか。

早坂町長
食は一つの観光スポットになり得ると感じている。剣淵の農産物を売り物にした観光というものは非常に有望と考えていて、体験型メニューと「食」そこから道の駅などの横の連携をとることで「おもてなし」型の構築ができる面白いと考えている。加えて、試してみると・やってみることが大切とも思っています。

卯城議員

町内で若者が多品種生産に努力しているが、道の駅やレークサイドで使わないところで日が当たるのかと思う。経営的に厳しい事情はあるにせよ、地元のものを使っておいしいものを作れば誇りになり、そういう地元の連携が大事だと思う。そこで同時に足りない宣伝であつたり、発信力であつたり、企画力であつたりする部分を観光協会でカバーしてもらいたいし、そういう組織であつてもらいたい。そのためには、良い人材を見つけていただき、短期間の臨時雇用ではなく腰を据えてしつかり働ける人を選んでもらいたい。

東中央団地公営住宅を前倒して建設 6,706万円を補正

H25年
第4回定例会
12月25・26日

高橋(毅)議員：タイ国内での特産観光プロモーション事業で町長ほか1名を派遣することだが、現状での政情不安についての見通しは。

経済課室長：現在予断を許さない状況と認識している。

道の主催事業であることから道からの情報収集に努めて判断したいと考えている。

高橋(一)議員：生ゴミ袋の耐久性だがもう少し材質の強化をすることにならないか。

住民課長：材質の強度も含め耐久性について調べてみたい。ゴミの分別方法について調べた上で周知していきたい。

古山議員：ごみの収集運搬で木材の粗大ゴミが増えたとのことだが、その原因是。

住民課長：住宅等の解体材及び家具の持込み等が増加したと考えられる。

人 事

○副町長の選任について

次の方の選任同意を求められたので同意しました。

剣淵町元町22番13号
清水幸喜氏



発 議

○閉会中の継続調査の申し出

議会運営委員会

議会の会期日程等議会の運営に関する事項

総務厚生常任委員会

所管に係る新年度予算

産建文教常任委員会

所管に係る新年度予算

条 例 改 正

追加議案

○民生委員の定数10名を3名増員し、13名とするものです。

民生児童委員会設置条例の一部を改正

条例制定・改正

○町・市民及び事業者が一体となって暴力団の排除を推進し、地域経済の健全な発展に寄与し、市民の安全で平穏な生活を確保することを目的として制定するものです。

可決全員賛成

剣淵町暴力団排除条例の制定

質
疑

畠山議員：青少年に対する教育のための措置はあるが具体例は。

総務課長：例えば警察等の職員が学校に出向き、反社会的勢力について説明し、児童生徒などに周知することが考えられる。

○地方税の改正により延滞金の割合の特例が改正となり、公共上の収入に関する条例ほか6条例を一括改正するものです。

可決全員賛成

公法上の収入に関する条例等の一部改正

補 正 予 算

○一般会計に8,411万7千円を追加しました。

主な内容は、東中央団地公営住宅建設事業に6,706万円、住宅新築・改修促進助成事業210万円、教員住宅改修工事363万円、観光振興対策一般事務32万円、ごみ収集運搬等処理事業44万円などです。

質
疑

生出議員：教員住宅の改修とあるが、今後の改修計画についてと公営住宅建設については前倒しでの建設となるが積算単価については消費税の上昇を見込んでの積算か。

建設課長：教員住宅は1戸の空きがあり、1月発注で改修を行う予定。今後は1戸の空きを見込んだ中で順次進めていきたい。公営住宅建設にかかる積算については消費税8%と見込むことで、業者の物品の調達には問題がないと考えている。

町民インタビュー

親しまれる広報をめざして



次の5項目について
インタビューしました。

- ①毎回読んでいますか
- ②興味を感じる記事は
- ③紙面の良い点・改善点
- ④今後、どういう記事を
のせて欲しいですか
- ⑤議会に望むこと

少し遊びを入れて馴染み やすくしてみては！？

西岡町 柳澤和美さん



- ①時々読んでいる。
- ②一般質問と活躍するけんぶちっこ。
- ③堅い印象がある。
字は大きく見やすく、字体はやわらかくて
よいが、ぎゅうぎゅうづめになっているの
で空白もうまく使ってみては！？
- ④ぱっちーなどの活動など少し遊び心も入れて
みては！？
- ⑤屯田町の三線道路が毎年春先に陥没してい
るので、その対応を早くお願ひします。

議案の質疑応答があり わかりやすい

仲町水間拓視さん



- ①今まであまり読むことがなかったが、同
世代の議員も出てきて興味をもつようにな
った。
- ②活躍するけんぶちっこ。
- ③議案のやりとりが分かりやすくていい。
写真が増えたことにより見やすくなり関心
をもちやすくなった。
- ④議会構成などの説明があれば、より分かり
やすい。
- ⑤議会でどのような活動をしているのか分か
りやすく説明してくれたら二十代の若い世
代ももっと関心をもつようになると思う。

後継者の紹介なども 載せていいって欲しい

旭町 精 進 正 弘 さん



- ①毎回読んでいます。
- ②議会の一問一答
特に町行政の、農業に対する考え方などに関心があります。
- ③読みやすいつくりになっていていいと思います。
議員さんの質疑のあとにコメントがほしいです。
- ④農業関連記事 後継者の紹介など。
- ⑤各行事に積極的に参加してほしい。

議案の質疑応答があり わかりやすい

元町 畠 山 哲 也 さん



- ①読んでいます。
- ②町民インタビュー
皆さんのが議会に関心をもって勉強されているのがわかる。
- ③読みやすいです。内容も工夫されていると思います。
- ④今後も議案を載せていただきたい。
- ⑤住みやすい町にしていけるようがんばってください。

子どもの動きにも目を 向けていることがいい

緑町 木 村 み な さん



- ①たまに読んでいます。
- ②子ども関連について見ます。
- ③一般質問は細かな質問でも掲載されていて良いと思います。
- ④子どもの教育に関連すること。
- ⑤これからも良い町づくりをしていっていただきたい。

写真をたくさん使うこと で分かりやすくなかった

南桜町 田 西 ひとみ さん



- ①だいたい読んでいます。
- ②町民の活躍の記事。
- ③表紙の写真がよく、興味をもちやすい。
- ④議員の活動の中身を詳しく教えて欲しい。
議会活動の抱負。
- ⑤事業に対する町民の声をもっと反映させていける工夫をしてもらいたい。

要望意見書を提出

第4回定例会では町民の暮らしに
関わる要望意見書を4件採択し、
各関係省庁へ送付しました。



ひらなみ荘での機能回復訓練の様子



町有林の調査

森林・林業・木材産業施策の 積極的な展開に関する要望意見書

○要支援者への介護予防給付の従来通りの継続」「特別養護老人ホームへの入居を要介護3以上に限定せず従来通りとすること」「利用者負担増の中止」を求める要望意見書

○要支援者に対する介護予防給付を従来通り継続すること。
他3項目を要望するものです。

○地球温暖化防止、特に森林吸収量の算入上限値3.5%の確保のための森林吸収源対策の推進や木材利用促進を図るため「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源対策を追加するなど、安定的な財源を確保すること。
他6項目を要望するものです。

日本型直接支払制度の創設及び 経営所得安定対策等の見直しに関する要望意見書

○TPP交渉については、国民に約束した「国益」「聖域」が守られないならば国会決議に基づいて即時撤退すること。
他3項目を要望するものです。

酪農・畜産に対する、直接支払制度・ 経営所得安定対策確立等に関する要望意見書

○例外なき関税撤廃を原則とするTPP協定交渉において農産物重要5品目などの「聖域」を守るとした国会決議を断固堅持するとともに、それができないと判断した場合は、交渉から脱退すること。

併せて、日豪などのEPA/FTA交渉において、我が国の基礎的食料である乳製品や牛肉、米や小麦、澱粉、砂糖等の重要品目を関税撤廃の対象から除外するなど、現行の国境措置を維持すること。
他4項目を要望するものです。

シリーズ 活躍するけんぶちつこ

剣淵中卓球部は、25年度、3年生4名・2年生5名・1年生3名の12名で活動してきました。中体連上川代表決定戦卓球大会・男子団体で創部以来初の優勝を果たし、悲願だった全道大会へ初出場しひとつに進出しました。昨年末に行われた道新杯新人戦卓球大会においてもその勢いのまま、名寄地区予選会で男子団体優勝、全道大会進出。そして、2大会連続となる準々決勝に勝ち進み、惜しくも敗れましたが、優勝した上機

中学校相手に健闘しました。2大會連続の全道ベスト8進出に、現在では「剣淵中」の名は、全道でも知られるようになりました。

剣淵中卓球部躍進の要因は、T Cけんぶちジユニア（少年団）での卓球の普及活動を通じて、競技に親しんでいる経験者、または、興味を持つていた未経験者が入部していくようになつたことです。

今年が町民の皆様にとつてよい良い年でありますようお祈りいたします。

これからも議員自らの手で編集を続け、より解り易く町民の皆様に興味を持って読んでもらえるよう工夫を加えながら発行していくたいと思います。

広報委員長 卯城規伊
副委員長 嶋山弘美
委員 古山久雄
委員 大澤秀明
委員 生出孝男



編集後記

参加への送迎など、町や保護者の方々の全面的な支援、地域のご協力により、剣淵中卓球部は少しずつ「成長・発展」してきたのだと思います。

夏の中体連を終え、中学校から卓球を始めた初心者が多いチームでも、みんなの思いや目標が一つになれば、夢は実現できることを、私は子どもたち、保護者の方々、

そして剣淵町の皆様に教えていただきました。歴代の部員の想い、保護者や地域の皆様の支えが「剣淵中」のユニフォームには込められています。今後も、剣淵中の卓球部員が大舞台で活躍できるように、日々の練習に取り組んでいきたいと思います。

剣淵中学校卓球部顧問 柴田 晃宏氏 寄稿

